

令和7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人敬寿会	代表者	施設長 山口 まゆみ	法人・事業所の 特徴	地域の中で、多機能を拠点とし、利用者一人一人の生活に合わせ個別支援に重点を置いたサービス提供をしています。利用者の「～したい」の気持ち「笑顔」を引き出し、機能の維持向上に努め自立した生活と生活の質が向上できるよう支援しております。
事業所名	小規模多機能型居宅事業所鈴川敬寿園	管理者	大類 裕二		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	6人	1人	1人	1人	人	6人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個別のアドバイスを行う事が大変だったので、リーダーとサブリーダーで役割分担して取り組む。 職員間の意識を上げるために職員のレベルに合わせて指導する。	事業所評価については職員全員で取り組む事が出来た。 自己評価に対する職員の意識の差はなくなってきているので、個別のアドバイスは継続していく必要がある。	改善に向けてスタッフ全員で問題意識をもって取り組んでいる。 また、職員間で課題の共有が出来ている。	自己評価に対する取り組みについての理解を深めるため、リーダーとサブリーダーで役割を分担して個別のアドバイスを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者からは好評なので、今の取り組みを継続し、楽しいばかりだけでなくリラックスできる環境を作っていく。	季節ごとに飾りつけをかえたり、イベントを行った際の写真を貼りだしたり、楽しめる雰囲気づくりを行った。 利用者が落ち着いて過ごせるように、席の配置を考慮したり休憩をとれるリラックスタイムを設けたりした。	季節ごとの行事は利用者の笑顔が一番で、楽しんでいることが良いと思う。 広報誌により利用者の楽しい写真が記載され、大好評です。 施設の中は明るく和やかな雰囲気よく管理されている。	季節を感じる雰囲気づくりや、リラックスできる環境をつくっていく。 利用者同士がコミュニケーションをとりやすいように環境を整えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	介護についての困りごと相談など積極的に取り組む。 「ちょこっと介護」も継続し地域への発信を行う。 地域行事に協力できることがあれば積極的に参加する。	主に利用者の家族からにはなるが、いろいろな相談を受けた。 地域との関わりとして、交流センターまつりへの出展、参加もできた。 「ちょこっと介護」は年2回、地域に向けて発信している。	事業所を地域のかかわりは良好であると感じている。 毎年恒例の鈴川交流センターまつりに協力してもらい、鈴川敬寿園の存在を数多く地域の住民に周知できたと感じています。 「ちょこっと介護」継続して、地域への発信を行う大事なことと思う。	地域の皆さんへ困りごと相談や、介護についての情報を「ちょこっと介護」として発信していく。 地域行事に出来るだけ参加していく。